

学校評価アンケート【前期】

学校アンケートの結果について

保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと拝察致します。さて、先日は学校アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。本紙にて、その結果をお知らせ致します。

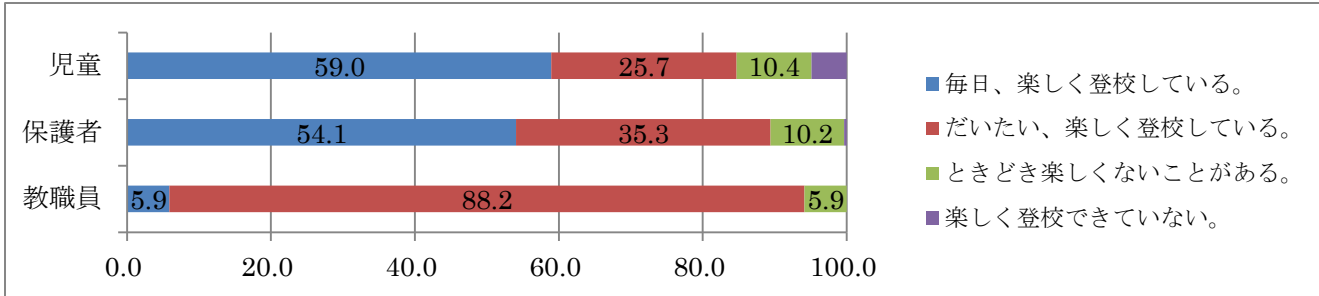
本校では、この結果を生かしながら、教育活動を行っていくよう努力してまいります。今後とも保護者の皆様にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アンケート結果の見方について

子ども、保護者、職員それぞれに実施したアンケートには、共通した項目があります。そこで、対比できるものについては各項目ごとに比較等ができるようグラフで表しています。問いは、各キーワードに関して、子どもは自分自身ができているか、保護者はご自身のお子さんができていると思うか、職員は、その内容に関する指導ができているかを表しています。

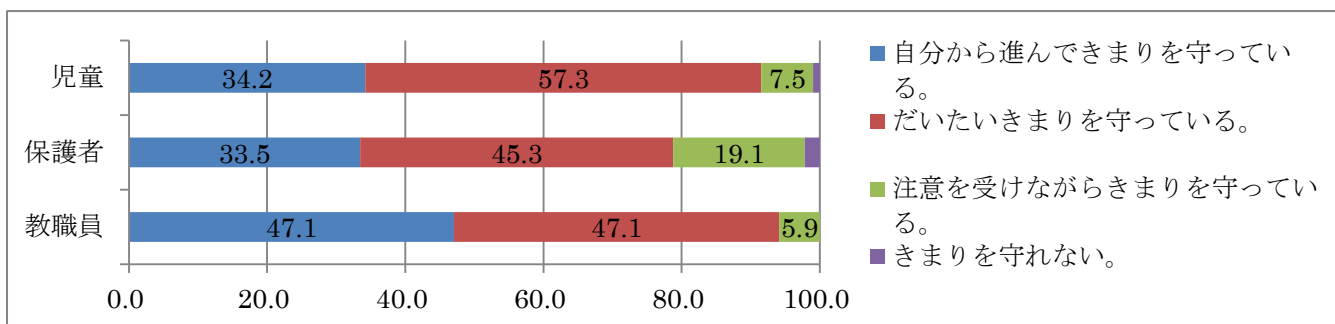
また、青と赤の帯が高い評価、黄緑と紫がそうではない評価という見方も一つの方法です。

1. 学校に来るときの気持ちについて

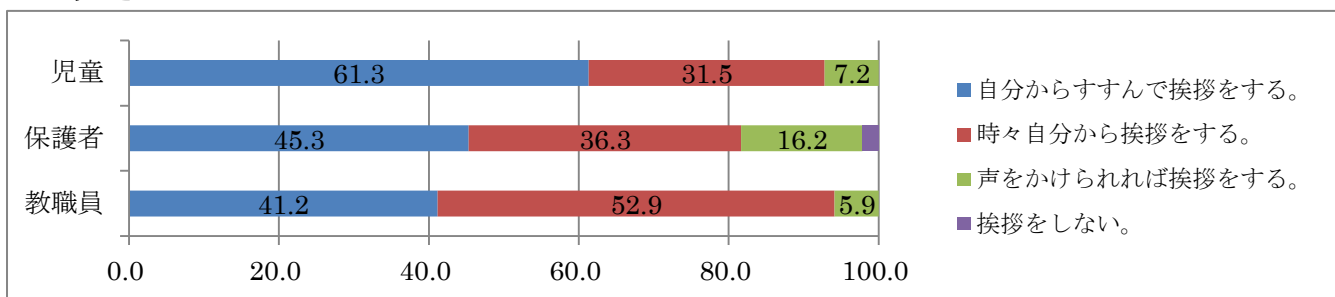


2. 学校のきまりについて

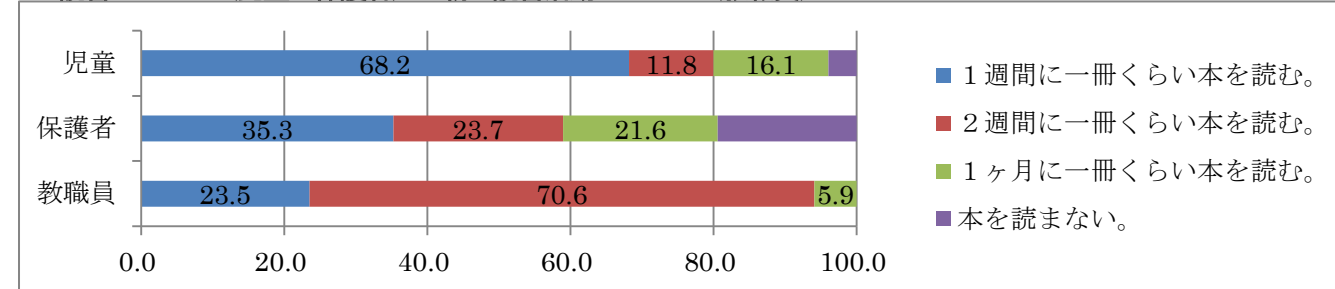
・ろうかを走らない ・チャイムを守る ・遅刻をしない など



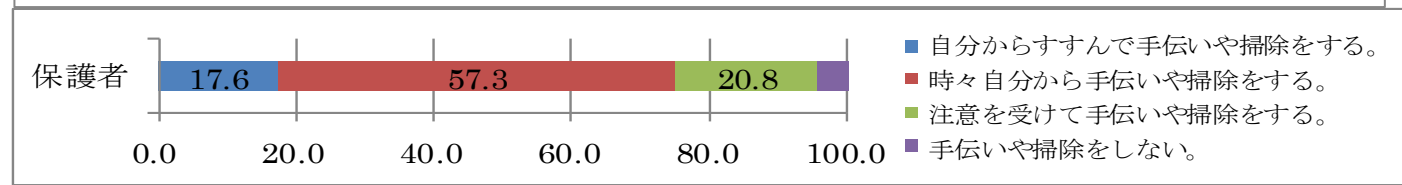
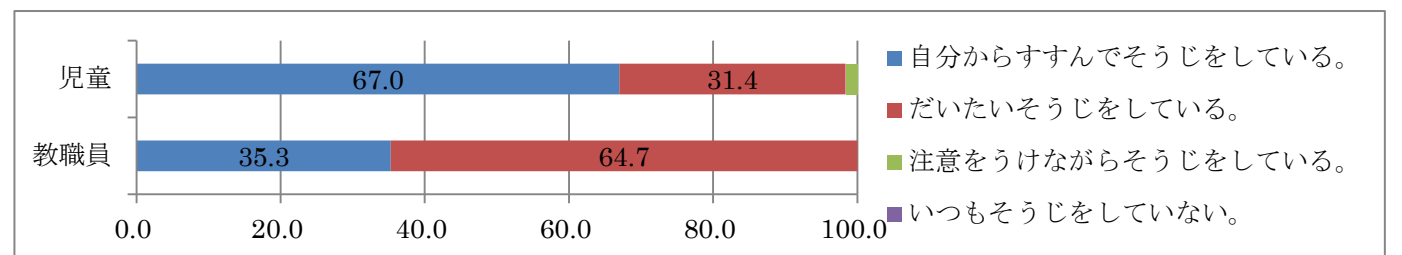
3. あいさつについて



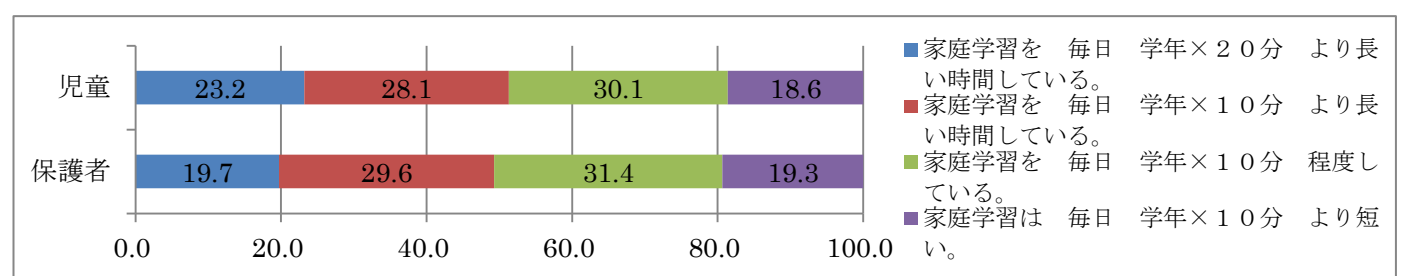
4. 読書について (児童・保護者) 朝の読書活動について (教職員)



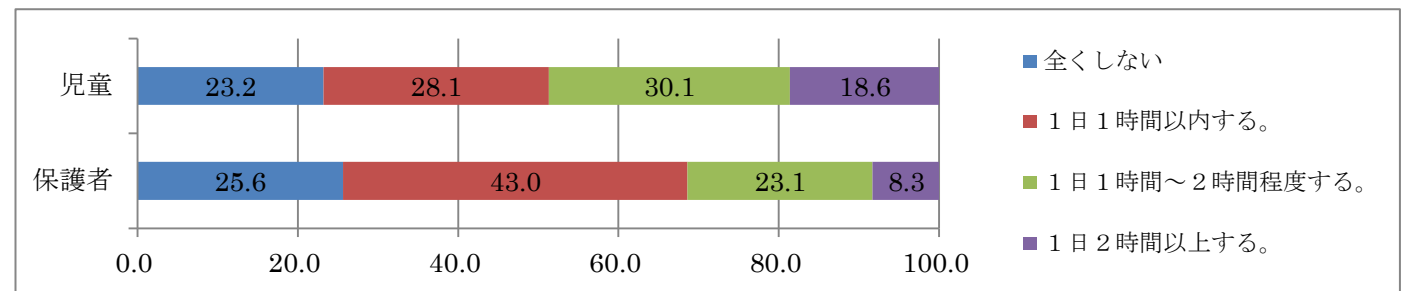
5. 学校のそうじについて (児童・教職員) 家庭での手伝いについて (保護者)



6. 家庭学習について (児童・保護者)



7. 携帯電話やゲームについて (児童・保護者)



アンケートの分析

○学校に来るときの気持ち 85%の児童、90%の保護者が、95%の教職員が、おおむね「楽しく登校している」と選んでいます。しかし、児童の5% (15名) が満足感を得ていないことがわかりました。家庭と学校と情報交換をしながらきめ細かく児童を見つめていきたいです。

○学校のきまり 全校のほぼ1/3は、「きちんときまりを守っている」実態が見られます。「だいたいきまりを守っている」という観点で、保護者と児童の評価が異なります。児童と保護者の基準にズレがあるためであると考えられます。集団生活の約束を守るよう指導していきたいです。

○あいさつ 児童・教職員は90%以上「挨拶はできている」と評価しています。一方、保護者の約20%は不足していると評価しています。言葉遣いや挨拶など、2学期も全校で継続して指導していきます。

○読書 朝の読書活動や各学級での読書指導を通して、児童は本をよく読んでいる実態があると教職員は判断しています。「月に2冊程度、本を読む」と考えている児童も90%を越えています。一方、わが子は「本を読まない」と見ている保護者は約20%です。保護者の「読ませたい本」と児童が「読んでいる本」との間にギャップがあることも考えられます。「家読」(家庭での読書)の必要性が求められている今、どんな本を、どのくらい読むのかを子ども自身に考えさせながら、学校と家庭が連携して読書習慣の推進に努めていきましょう。

○手伝いやそうじ 児童・教職員共に高い評価です。子どもたちは本当によく頑張っています。この姿をもっと保護者の方へ伝え、子どもたちの頑張りを認め、ほめていただく必要性を感じています。家庭での手伝いや掃除については、いつも自分からできる児童が18%程度です。できたこと・したことを認め、ほめることを通して心の育ちを進めていきましょう。

○家庭学習 約50%の児童は、学年×10分を越える時間、学習しています。より長い時間頑張っている児童が20%程度いる一方、時間が短かったり、学習しなかったりする児童も20%います。学級で出された宿題は必ず行い、自主学習を進めるよう指導していきますので、各家庭でも声をかけていただきたいです。

○携帯電話やゲーム 平日と休みの日では、違うという意見をいただきました。全体的に見ると、児童の方が短めに申告しているようです。それでも50%をこえる児童が1時間以上しているという実態がわかりました。使用時間の増加と学力の低下に関連性があるとの見解もあります。マナーを守った携帯電話の使い方やゲーム時間の在り方などについてお家でも子どもと話し合ってみてください。